

# 2020年度 会員総会

## Safe Kids Japan

# 会員総会



2020年6月20日（土）

# 2019年度 事業報告

## 1 子どもの傷害予防に関する啓発活動

### 1) 講座運営

- ・子どもの傷害予防リーダー養成講座 (基礎編)
- ・ 同 (実践編)
- ・ 同 (学生コース)

### 2) 資料作成

- ・書籍『保育・教育施設における事故予防の実践』
- ・子どもの傷害予防カレンダー 2020

### 3) シンポジウムの運営、協力

- ・事故情報の一元化
- ・プール事故予防
- ・跳び箱事故予防

### 4) その他

- ・ウェブサイトにおける記事の連載等
- ・Udemyにおける講座の配信
- ・学会、講演会等における講演活動



# 子どもの傷害予防リーダー養成講座

## 基礎編@京あんしんこども館（京都市）






**第5回 子どもの傷害予防リーダー養成講座**

主催：一般社団法人いんふぁんと room さくらんぼ  
 共催：京都市子ども保健医療相談・事故防止センター 京あんしんこども館  
 連携団体：NPO法人 Safe Kids Japan

日時：1日目：2020年1月25日（土）9時45分～17時（開場9時15分）  
 懇親会（参加自由）18時～20時 ＊会費5,000円（当日徴収）  
 2日目：2020年1月26日（日）10時～17時（開場9時30分）

会場：京（みやこ）あんしんこども館 京都市中京区金産通上る梅原町174-3  
 アクセス：京都市営地下鉄烏丸線「丸太町駅」下車 2番出口から徒歩約5分

定員：30名 定員に達し次第締め切ります。  
 対象：子ども達のすこやかな育ちを支える人  
 （子育て支援団体構成員、子育て支援関係行政担当者、保育士、教員、企業の担当者など）

受講料：京都府内在住・在勤の方 無料  
 京都府以外の方 10,000円

申込：（一社）いんふぁんと room さくらんぼ  
 電話またはメールでお申し込みください。メールの場合は、氏名、所属、電話番号を明記してください。  
 電話：075-921-5488 メール：sakuranboinfantroom@gmail.com

＊ここで収集した個人情報等は主催者において厳重に管理し、本講座の運営以外には使用しません。  
 ＊申込多数の場合は、子育て支援活動5年未満の団体を優先しつつ、より多くの団体の方にご参加いただけるよう考慮します。



**子どもの傷害予防リーダー養成講座 日程表**

2020年1月25日（土）	2020年1月26日（日）
<p>9:45 10:00 <b>はじめに</b>                  京あんしんこども館における子どもの傷害予防への取り組み                  講師：中辻 浩美 看護師</p> <p>10:00 <b>子どもの傷害を予防する</b> <span style="color: blue;">🔄</span>                  ※ワークあり                  変えられるものを見つけ、変えられないものを変える                  講師：山中 雄宏 小児科医、嵯峨こどもクリニック院長（録音+Skype）                  NPO法人 Safe Kids Japan 理事長</p> <p>11:20 12:35 <b>火災とやけど</b> <span style="color: red;">🚫</span>                  自分で自分の身を守る子どもになるために                  講師：奥田 悦子 一般社団法人 RISK WATCH</p> <p>13:30 14:45 <b>顔触れと講義</b>                  そのメカニズムを知り、具体的な予防策をとるために                  講師：林 幸子 国立成育医療研究センター 救急センター 副センター長</p> <p>14:50 16:05 <b>転落</b> <span style="color: red;">🚫</span>                  高所からの転落を「Guide50」の視点で考える                  講師：瀬戸 馨 技術士 公益社団法人 日本技術士会登録 子どもの安全研究グループ</p> <p>16:10 16:50 <b>見学</b>                  京あんしんこども館見学</p>	<p>10:00 11:15 <b>遊び場の安全</b> <span style="color: yellow;">🚫</span>                  成長と傷害予防のバランスという視点から                  講師：松野 敬子 （一社）いんふぁんと room さくらんぼ 代表理事 学術博士（社会安全分野）</p> <p>11:20 12:35 <b>滑り</b> <span style="color: blue;">🔄</span>                  その監視は継続しているか？～実験データから考える滑り予防～                  講師：北村 光明 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人工知能研究センター 主任研究員 NPO法人 Safe Kids Japan 理事</p> <p>13:30 14:45 <b>交通事故</b> <span style="color: green;">🔄</span>                  自転車事故とチャイルドシートを中心に                  講師：西田 佳史 東京工業大学 教授 NPO法人 Safe Kids Japan 理事</p> <p>14:50 16:00 <b>発災準備</b>                  受講生</p> <p>16:00 16:30 <b>発表</b>                  受講生</p> <p>16:30 16:55 <b>講師、修了証授与</b>                  山田 龍宏 (Skype)                  西田 佳史</p>

2月1日（土）・2日（日）に、本講座の修了生を主たる対象とした実践編「フォローアップ講座」を実施します。詳細についてはこちらでご確認ください。

この事業は、令和元年度「京都市子どもつながり広域連携事業補助金」により実施しています。




# 子どもの傷害予防リーダー養成講座 実践編@バンビオ（京都府長岡京市）

**SAFE  
K:IDS**  
WORLDWIDE  
JAPAN



## 第1回 子どもの傷害予防リーダー養成講座 ～実践編（フォローアップ）～

**主催：**一般社団法人いんふぁんと room さくらんぼ  
**連携団体：**NPO 法人 Safe Kids Japan  
**日時：**1日目：2020年2月1日（土）9時45分～17時（開場9時15分）  
懇親会（参加自由）18時～20時・会費5,000円程度（当日徴収）  
2日目：2020年2月2日（日）10時～17時（開場9時30分）  
**会場：**JR京都線 長岡京駅近く（受講申込をされた方に通知します）  
**アクセス：**裏面参照  
**定員：**30名 定員に達し次第締め切ります。  
**対象：**①過去に「子どもの傷害予防リーダー養成講座」を受講した人  
②傷害予防活動を実践している人・京都府以外の方も受講可能です。  
**受講料：**無料  
**申込：**（一社）いんふぁんと room さくらんぼ  
電話またはメールでお申し込みください。  
電話：075-952-6388 メール：sakuranboinfantroom@gmail.com

\*ここで収集した個人情報は主催者において厳重に管理し、本講座の連絡以外には使用しません。  
\*申込時に、氏名、所属、連絡先（電話番号およびメールアドレス）、対象の場合は活動内容をお知らせください。

### 日程表 / 2020年2月1日（土）

活動報告	10:00 ～ 12:00	連年度受講生による活動報告 過去に「子どもの傷害予防リーダー養成講座」を受講した方々による活動報告
事例紹介	13:00 ～ 15:00	<b>実践事例紹介</b> 子どもの傷害予防活動を実践している方々による活動紹介 講師：吉川 優子 一般社団法人吉川慎之助記念基金代表理事 講師：仙頭 真希子 子ども安全ネットかがわ 代表 講師：矢口 まゆ 京都府町田市議会議員
グループワーク	15:15 ～ 16:15	傷害予防活動における課題の抽出と共有
発表	16:15 ～ 16:45	課題の解決に向けた検討および提案の発表
まとめ	16:45 ～ 16:50	一日のふりかえり

### 日程表 / 2020年2月2日（日）

さくらんぼ保育園見学	10:00 ～ 12:00	道具の安全を中心に 講師：松野 敬子 （一社）いんふぁんと room さくらんぼ 代表理事、社会安全分野博士
最新の研究から その1	13:30 ～ 14:45	最新の研究成果に触れる 講師：北村 光国 国立研究開発法人産業技術総合研究所 人工知能研究センター主任研究員 NPO 法人 Safe Kids Japan 理事
最新の研究から その2	14:50 ～ 16:05	最新の研究成果に触れる 講師：西田 恒史 東京工業大学 教授 NPO 法人 Safe Kids Japan 理事
今後の活動について	16:05 ～ 16:40	二日間の学びと体験をもとに、今後の活動についてレポートを作成
全体講評	16:40 ～ 16:50	講師：山中 龍宏 小児科医、緑園こどもクリニック院長 (Skype) NPO 法人 Safe Kids Japan 理事長
修了証授与	16:50 ～ 16:55	西田 恒史

この事業は、令和元年度「京都府こどもつながり応援事業補助金」により実施しています。



# 子どもの傷害予防リーダー養成講座

## 学生コース@東京都内

### ◆参加者募集◆



2019年度  
Co-Design (コ・デザイン) でつくる  
子どもにやさしい製品  
～学生と企業によるイノベーション～  
子どもの傷害予防リーダー養成講座 [学生コース]



#### 実施概要

日程：2019年8月8日(木)、9日(金)、10日(土) 10:00～17:00

※8月9日(金)は見学先によって異なります

見学先は参加者の希望を尊重した上で決定します

会場：8月8日 主婦会館プラザエフ (東京都新宿区 四ツ谷駅)  
8月9日 各事業所等 (東京都世田谷区、同新宿区、同台東区)  
8月10日 産業技術総合研究所 (東京都江東区 テレコムセンター駅)

対象：高校生、大学生、大学院生、専門学校生

※3日間すべて参加できる方を対象とします

※学年や専攻は問いません

定員：30人 (先着順)

申込 →

受講料：無料



※カリキュラム、見学先、会場等の詳細は裏面を参照してください。

※QRコードを使用しない場合は、お名前、メールアドレス、連絡先(携帯電話番号など)、学校名(学部、学科、学年も)、見学先の希望順、この講座を受講しようと思った理由、講座に期待すること(任意)を書いて、[students-info@safekidsjapan.org](mailto:students-info@safekidsjapan.org) にお送りください。お問い合わせもこのアドレスにお願いします。

「子どもは小さなおとなではない」という言葉がとても記憶に残っていて、子ども目線のものを開発するために考えた製品など知ることができ、とてもよかったと思っています。このことは自分自身の武器になると思っています。

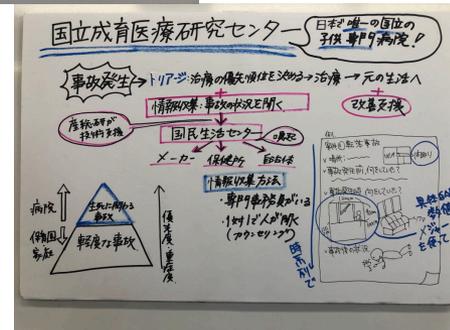
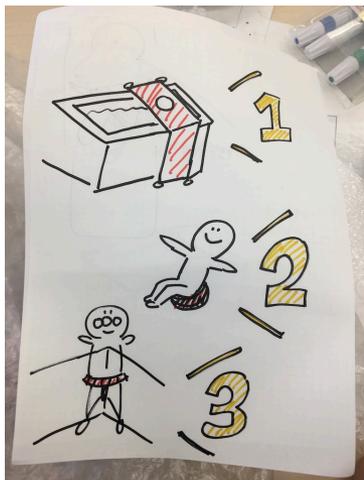
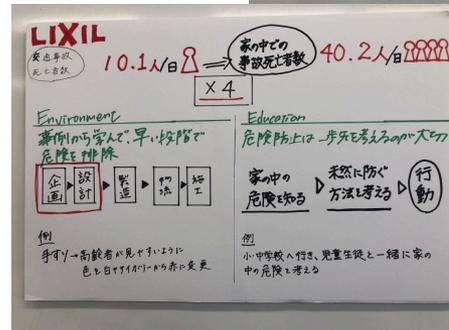
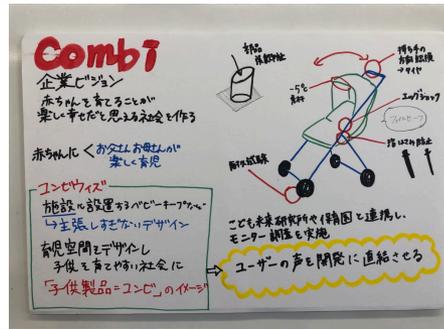
昨年度参加者の声

将来、教員になることも視野に入れているので、子どもの安全、教育に力を入れる必要性を学ぶことができ、今後に生かせると感じました。

「事故は日本における1歳～19歳の子どもの死亡原因の上位を占めています。これは過去50年以上変わっていません。一般には「不慮の事故」と言われていますが、事故の実態を調べてみると、チャイルドシートやヘルメットの不適切な使用(または不使用)による自動車・自転車の事故、乗り換え可能な棚が設置されたベンダからの転落、子どもの口に入るサイズのおもちゃによる窒息、ライオンシャウト不使用によるおぼれなど、実は「不慮(=思いがけない、予想がつかない)」事故ではなく、「予測可能で予防・対応が可能な」事故が多いことがわかっています。この状況を変えるため、さまざまな取り組みが進められていますが、将来の日本や世界を変える若い世代の人たちにも知っていただき、課題解決に向けて共に考え実践していただきたいと考え、2018年より「子どもの傷害予防リーダー養成講座<学生コース>」を実施しています。あなたの思いを表現し、安全な社会づくりに参加してみませんか?

講座の背景

子どもが重大な傷害を負わないため「キッズデザイン」の考え方を生かした製品や環境をつくります。あなたのアイデアをお待ちしています。



# 子どもの傷害予防カレンダー 2020



SAFE  
KIDS  
WORLDWIDE  
JAPAN

みんなで作る  
子どもの傷害予防カレンダー 2020



## 危険なものを 飲み込まないために

- ✓ ボタン型電池や強力マグネットの飲み込みは緊急事態であることを知っている。
- ✓ ボタン電池が内蔵されているリモコンや時計、おもちゃには丈夫なテープなどを巻き、中の電池が飛び出さないようにしている。
- ✓ ラップの芯を通るようなサイズのものは、子どもの見えにくいところにしておく。



子供の安全



## 1月13日は 「サッカーゴール等固定チェックの日」

- ✓ 学校などに設置しているゴールの多くは移動式であり、公式戦で使用する埋め込み式のゴールとは違うことを知っている。
- ✓ 移動式のゴールは、クロスバーに子どもひとりかふら下がっても倒れる可能性があることを知っている。
- ✓ 移動式ゴールを使用するときは、旗やおもりを使って固定しなければならないことを知っている。



子供の安全



SAFE  
KIDS  
WORLDWIDE  
JAPAN

# シンポジウムの運営、協力

## 事故情報の一元化

2019年 PL オープン会議報告会

何度言ったら事故情報を一元化できるのだ！～消費者安全行政の10年と課題～

日頃私たちの生活の中では、程度の差はありますが、さまざまな事故が発生しています。消費者は、同じような事故に遭っても「自らの不注意」で済ませてしまっていますが、実はその事故は多くの人が経験している可能性があります。

事故の再発防止には、事故情報を一元的に収集し、それを公開して、消費者、事業者、関係行政機関など関係者が活用することが必要です。これを大きな目標として2009年に誕生した消費者庁は、今年創設から10年を迎えます。この10年の消費者事故の情報はうまく集まり、うまく活用され、事故は減っているのでしょうか？消費者の安全は、向上したのでしょうか？

報告会では、現状を整理して課題を探り、事故情報の一元化のための解決策をみなさんと考えていきます。事業者の製品改善事例の報告もあります。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

◆日時◆ ◆会場◆ ◆定員◆ ◆参加費◆ ◆申込先◆

- ◆日時◆ 2019年7月1日(月) 13時30分～16時00分(受付開始13時00分)
- ◆会場◆ 主婦会館プラザエフ5階会議室  
(東京都千代田区六番町15 JR四ツ谷駅 麹町口徒歩1分)
- ◆定員◆ 60名(満席になり次第、締め切らせていただきます。)
- ◆参加費◆ 一般消費者500円 企業の方1,000円(会場受付で申受けます)
- ◆申込先◆ 全国消費者団体連絡会 FAX 03-5216-6036

E-mail: yukiko.ooide@shodanren.gr.jp

※裏面に、お名前、所属、連絡先を記入の上、Faxまたはe-mailにてお申し込みください(お問い合わせは TEL 03-5216-6024 担当:大出、小林)

☆☆☆プログラム(予定)☆☆☆

1. 報告 ①内閣府消費者委員会 消費者安全専門調査会報告書のポイント  
西田佳史さん(東京工業大学教授)  
②キッズデザイン賞受賞製品の紹介  
小島 昌芳さん(YKK株式会社ファスニング事業本部商品開発部)
2. パネルディスカッション  
パネリスト 西田佳史さん(東京工業大学教授)  
高田深さん(消費者庁政策室総括審議官)  
宗林さおりさん(国民生活センター理事)  
新井勝己さん(NITE製品安全センター専事 元所長)  
長田三紀さん(情報通信消費者ネットワーク)  
コーディネーター 中村雅人さん(弁護士)

主催: PLオープン会議 共催:(一社)全国消費者団体連絡会

## プール事故予防

繰り返される水の事故から子どもを守り、楽しい活動!

### プールの安全シンポジウム

専門家と一緒に考える事故予防対策!

全国どこからでもオンラインで参加が可能!



日程 2019年 6月11日(火) 時間 18:30～20:30 定員 100名 参加費 無料

場所 アイレックス ホール (香川県丸亀市緑歌町西168番地 駐車場無料) 対象 保育、教育関係者、保護者等、テーマに関心のある一般の方など

- 第一部 香川県内のプール事故事例紹介 北村光司 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
- 第二部 重大な傷害を負わないプール活動の科学-監視実験報告- 西田佳史 東京工業大学
- 第三部 香川県内のプール利用の実態と事故予防のための実践例紹介 仙頭真希子 子ども安全ネットかがわ代表、弁護士 岡まゆみ(中継) 大阪大学大学院 人間科学研究科
- 第四部 提言-溺水事故ゼロへ向けて- 質疑応答と参加者によるディスカッション 山中龍宏 NPO法人 Safe Kids Japan 理事長・小児科医 仙頭真希子 ほか

お申込み・お問い合わせ 子ども安全ネットかがわ (せんとろ法律事務所内) 共有: NPO法人 Safe Kids Japan

電話 0877-85-6070 主催: 子ども安全ネットかがわ 共催: NPO法人 Safe Kids Japan 後援: 香川県、香川県教育委員会、丸亀市教育委員会、香川県教育委員会

## 跳び箱事故予防

シンポジウム 「これで防げる! 学校体育・スポーツ事故」

繰り返される跳び箱事故から子どもを守る

参加費 無料

日程 8月24日(土) 14:00～17:00 受付開始 13:30

定員 200名 (申込順、募集人数に達し次第終了)

対象 学校教員(幼稚園・保育園、小学校、中学校)、自治体教委関係者、スポーツ教室指導者、その他テーマに関心のある方

会場 公益財団法人横浜企業経営支援財団 横浜情報文化センター6階 横浜ホール (横浜市中区日本大通11番地)

申込方法 こちらのURLからお申し込みください。 QRコード利用も可。 https://forms.gle/MN9J4edPKksdmtsM8

### プログラム

総務会	入澤 充(国土館大学大学院法務研究科教授)
開会挨拶-はじめに	朝山 直幸 (公益財団法人日本中学校体育連盟 前事務理事)
1 跳び箱に関する傷害について ～日本スポーツ振興センターのデータ分析結果から～	北村 光司 (国立研究開発法人 産総研主任研究員、Safe Kids Japan 理事)
2 跳び箱事故判例紹介 ～横浜市立中学校事故および過去の裁判例について～	井藤 謙二 東田 文樹 (神戸川崎弁護士会所属) 井藤 謙二 大川 一雄 (弁護士)
3 日本中学校体育連盟全国アンケート分析 ～跳び箱指導の現場の声～	井藤 謙二 中嶋 賢 (東京外国語大学所属) 井藤 謙二 本 健太 (第一東京弁護士会所属)
4 跳び箱指導を楽しく安全に進めるための 具体的な提言	松本 裕之他 (明治大学大学院 スポーツ健康政策学部 学部員) 井藤 謙二 他
5 ディスカッション (参加者を含む会場全体との質疑応答)	モデレーター 入澤 充
提言・おわりに	山中 龍宏 (経道ともクリニック院長、Safe Kids Japan 理事)

問い合わせ: 阿部新治部 (弁護士・弁護士事務所) 電話 045-663-5617 メール abesin@sawafuji-law.jp  
主催: 一般社団法人 日本スポーツ協会、研究センター / 公益財団法人 日本中学校体育連盟 / NPO 法人 Safe Kids Japan / 国土館大学大学院法務研究科 / 日本スポーツ協会  
後援: 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 / 横浜国立大学 / 日本体育大学 / 横浜市教育委員会 / 神奈川県弁護士会 / 独立行政法人 日本スポーツ振興センター / 公益財団法人 朝日スポーツ財団 / 公益財団法人 日本体育連盟協会 / 公益財団法人 スポーツ安全協会  
写真提供: 朝日新聞

# その他

## 記事の連載



### 子どもの傷害予防に取り組む ～ 変えられるものを見つけ、変えられるものを変える～

山中龍宏



山中龍宏  
小児科医 / NPO法人 Safe Kids Japan  
理事長

official site  
NPO法人 Safe Kids Japan

64 オサーコメント 4



### STAY HOME中はいつも以上に転落や誤飲に注意！子どもの安全についてプロが指南【Safe Kids】

2020.5.6 | Safe Kids Japan



### 子どもの視野は大人の60%！子どもの新生活を安全にスタートするために【Safe Kids Japan】

2020.3.18 | 3-6歳 Safe Kids Japan 小学生



### 1～3歳は要注意！「節分の豆まき」を安全に楽しむために気を付けたいこと【Safe Kids Japan】

2020.2.2 | 1歳 2歳 3-6歳



### 山中龍宏「子どもを守る」

子どもは成長するにつれ、事故に遭う危険も増します。誤飲や転倒、水難などを未然に防ぐには、過去の事例から学ぶことが効果的です。小さな命を守るために、大人は何をすればいいのか。子どもの事故防止の第一人者、小児科医の山中龍宏さんとともに考えましょう。



7月7日  
「子どもの手が届かない所」ってどこ？ 誤飲を防ぐためにすべきこと  
山中龍宏「子どもを守る」



6月16日  
たばこ、灯油、針…子どもの誤飲 家庭で吐かせてはいけない理由  
山中龍宏「子どもを守る」



6月2日  
【番外・ペット編】誤飲事故の8割は犬 えさ状の殺虫剤、チョコレートも危険…猫は容器入り液体に注意！  
山中龍宏「子どもを守る」



5月19日  
小型で強力な磁石を飲み込んだ1歳児 小腸が壊死して穴が…開腹手術で37個摘出  
山中龍宏「子どもを守る」

## Udemy (オンライン講座)



「気を付けましょう」では事故は防げない。効果的で実践的な事故予防を伝授。

学校、家庭、野外などで、事故が多発しています。医学、工学の事故予防の専門家が結集し、最新のデータに基づいて分かりやすく、実践的な予防法を解説。

4.5 ★★★★★ (9件の評価) 109人の受講生 1時間59分のオンデマンドビデオ  
作成者: Yoshifumi Nishida, Tatsuhiko Yamanaka, 光司 北村

無料

今すぐ登録 シェア

このコースをプレビュー

# 2019年度 事業報告

## 2 子どもの傷害予防に関する調査・分析

- 1) プール事故の基礎調査（映像解析調査）：消費者庁 委託事業
- 2) 洗剤等の摂取に関する調査：P&Gジャパン株式会社 協働事業
- 3) 乳幼児の保護者の傷害予防に関する行動調査：厚木市 委託事業
- 4) 外傷サーベイランスデータの分析：Love and Safety おおむら 協働事業

## 消費者庁委託事業

幼稚園、保育所、認定こども園の先生方へ

**プール活動・水遊びの溺れ事故を防ぐため、  
監視役の先生は、最初から最後まで監視に専念！**  
～監視のポイント～

<p><b>1. 監視役の先生は、子どもより先にプールサイドへ</b></p> 	<p><b>始める前に</b></p> <p>子どもたちの着替え、シャワー、換着のサポート等々、しなければならぬ事が沢山あり、ついつい監視役の先生も、他の先生の手応いをして、プールへの到着が遅れることがあります。一方で、準備ができた子どもは、早く水遊びをしたいため、プールに近づき、中をのぞき込んだりします。</p> <p>監視役の先生は、必ず子どもより先にプールに行き、監視が始められる状態になってから、子どもを迎えるようにしましょう。</p>
<p><b>2. 監視役の先生は、プール全体を見渡せる場所で監視に専念！ 交代するときは、子どもたちに目を配ったまま</b></p> 	<p><b>実施中</b></p> <p>子どもが監視役の先生の視界の範囲（視界）の外に行ってしまうことがあります。また、交代するときに、監視ができていない状態が発生してしまうことがあります。</p> <p>過去には、監視役の先生が、道具の片付けなど、ほかの作業を行っていて、ふと監視の目を離れた際に、溺死事故が起こっています。</p>
<p><b>3. 監視役の先生は、最後の子どもが退水したことを確認</b></p> 	<p><b>終わるとき</b></p> <p>プール活動が終わると、監視役の先生も監視を止め、水から上がった子どもシャワーや着替えの補助に回る必要があります。しかし、プールに残っている子どもがいると、溺れ事故の恐れがあり、中には転入してしまったりすることがあるかもしれません。大人が気づいていないプール内に子どもだけがいるのは、非常に危険です。</p> <p>監視役の先生は、子どもたち全員が退水するまで、その役割を全うすることが重要です。全員が退水後、再度プールに目をやり、指差し確認をして水の中に残っている子どもがいなかったことを確認しましょう。</p>
<p><b>4. 水をためたプールからは、子どもを離す工夫を</b></p> 	<p><b>プール活動外</b></p> <p>プール活動・水遊びの時間に隣接なく、子どもは、水の入ったプールに近づき、中をのぞいたり、水に触ったりします。もし、水に落ちちゃったりすると、溺れ事故につながりかねません。</p> <p>子どもにプール活動・水遊びの時間以外にはプールに近づかないよう指導すると同時に、入口に鍵をかける、柵を設けるなど、子どもがプールに近づくとできなくなる工夫をしましょう。活動後、すぐに水を抜くのが理想ですが、その場合は、水がなくなっただけを確認しましょう。</p>



消費者安全調査委員会

令和2年6月21日

[https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching\\_material/](https://www.caa.go.jp/policies/council/csic/teaching_material/)

## 厚木市委託事業

赤ちゃんを

予防できる事故から  
守るために

セーフコミュニティあつき



厚木市

# 2019年度 事業報告

## 3 子どもの傷害予防に関する国際連携

- 1) Safe Kids Worldwideが主催する会議「PREVCON 2019」における発表および情報交換
- 2) Safe Kids Worldwideとの協働



# 2019年度 事業報告

## 4 その他 目的を達成するために必要な事業

### 1) 国内連携活動

- ・日本技術士会登録 子どもの安全研究グループとの連携
- ・子どもの事故予防地方議員連盟との協働（実態調査、要望書の提出など）
- ・ネットワーク会議の発足
- ・ロビー活動（交通事故対策、ライフジャケット着用義務化等）

他

### 2) 会員活動等

- ・会員による講座運営（学生コース）
- ・会員を対象とした講座や資料の無償提供

### 3) 外部機関等への対応

- ・メディアによる取材依頼への対応
- ・「聞かせてください」に投稿されたメールへの対応



# その他（取材依頼への対応）

## 1) テレビ局からの依頼

- ・フィッシャープライス社製 ベビーラックの事故について
- ・ベランダからの転落について
- ・タクシー乗車中の子どもの安全について
- ・帰省中の子どもの安全について
- ・水上アスレチックによる事故について
- ・ホームからのベビーカーの転落について 他

## 2) 新聞社からの依頼

- ・登下校の見守り時（いわゆる「旗当番」）の未就学児の安全について
- ・帰省中の子どもの安全について
- ・節分の豆による傷害について
- ・休校により子どもが単独で自宅に滞在する際の安全について 他

## 3) その他、雑誌やウェブメディアからの依頼

- ・子どもの水の事故について
- ・子どもの「不慮の事故」について 他



# その他（取材記事）

日本農業新聞

2020/2/29

四季  
2020・2・29

節分の日、子が保育園年少組の時の豆まきの様子を小欄に書いたら、知人に注意された。幼い子に乾いた豆を食べさせるのは危ないと▼島根県の保育施設で4歳児が3日、いった大豆を喉に詰まらせ窒息死した。豆やナッツ類での子どもの誤嚥事故はしばしば起きている。2017年までの7年間に医療機関から消費者庁に報告があった子どもの事故件数は27件。うち3歳未満が20件と多い。奥歯が生えそろっておらず、かみ砕く力やのみ込む力も弱く、気道も狭い。気管支炎や肺炎を起こしたり、窒息したりする恐れがある。小さく砕いても駄目だという▼1歳未満の乳児に蜂蜜を与えてはいけないことは業界のルールで表示されている。豆でも働き掛けが始まる。子どもの傷害予防に取り組むNPO法人セーフキッズジャパンは、乾燥した豆類が入っている袋に「4歳未満の子どもには食べさせないでください」といった表示を求める要望書を関係団体などに提出する予定だ▼へまた来ん春と人は云う／しかし私は辛いのだ／春が来たつて何になる／あの子が返つて来るぢやない。中原中也の詩の一節である（『在りし日の歌』より）。病死した長男にささげた。子を亡くした親の悲しみの深さを思う▼子どもを取り巻く危険に疎かった自分を恥じる。

2020年4月、子どもの事故予防地方議員の会と連名で日本ピーナッツ協会に要望書を提出、6月同協会に所属する全事業者宛にこの要望書を送付

キーワードを入力



トップ

速報

ライブ

個人

特集

みんなの意見

ランキング

主要

国内

国際

経済

エンタメ

スポーツ

IT

科学

ライフ

## 豆菓子「4歳未満に食べさせないで」注意表示を 窒息死事故受け業界団体が要望

6/25(木) 14:51 配信

### 食品新聞

今年2月、島根県の保育施設で節分行事の豆まきをした際に、豆を口にしたら4歳の園児がのどに詰まらせ窒息死する事故が発生した。

この事故を受けてNPO法人「セーフ・キッズ・ジャパン」と、超党派の地方議連「子どもの事故予防地方議員連盟」では、乳幼児による豆製品の誤嚥防止に向けた取り組みを強化。豆菓子を扱う企業が多く加盟する日本ピーナッツ協会に対し、注意喚起表示の要望書を4月に提出した。協会もこれに呼応し、会員向けに「誤嚥防止注意書き表示のお願い」と題する鈴木隆一理事長（でん六社長）名の文書を6月15日付で発出した。

ピーナッツ協会が会員向けに15年に配布した「落花生安全マニュアル」では、子どもが食べる際は保護者が見守ることなどを促す注意書きを例示。ただ、いまだ大半の商品にはこうした表示がないのが現状だ。

2団体からの要望書では、子どもの誤嚥防止策として（1）4歳未満の子どもには豆は食べさせないでください（2）子どもが泣き切った後や驚いたときなど大きく息を吸い込んだときに、口内にある豆が気管に入ることがあります。子どもが泣いているときは豆を食べさせないでください——との2点の表示を求めている。また「見守っていても誤嚥を予防することはできません」として、4歳未満には食べさせないよう明記する必要性を強く訴えた。

このほどピーナッツ協会が出した「お願い」では、「尊い子どもたちの生命を守るため、予防策として積極的かつ明解な注意喚起の表示が必要」として、要望書が求める2点の注意表示を徹底するよう会員企業に求めた。

Yahoo!ニュース  
2020/6/25

# その他 (取材記事)

読売新聞  
2020/3/16

【朝夕刊月きめ定価4400円(本体価格4074円+消費税326円)】11部売り朝刊150円・夕刊150円 (第3種郵便物認可)

## 新型コロナウイルス 休校2週間

# 自粛緩和と学校再開も

### 子どもへの心身配慮



2週間以上に学校1座席の間隔を空けて座席を確保

新型コロナウイルスの影響で学校が一斉休校になって16日です。2週間がたった。「自宅待機」を強いられるという子どもへの心身の悪影響を軽減しようと、一部の自治体で学校が再開された。国も「屋外での運動は問題ない」との見解を示したことで、休校中の自治体も校庭を開放するなど、自粛緩和の動きが出始めた。

〈関連記事1面〉

#### 国、屋外活動は容認

兵庫県明石市では、小中学校と高校、幼稚園全10校が再開。中心部にある大観小では、午前8時からマスク姿の児童らが次々に登校し、境正道校長が笑顔で「おはよう」と出迎えた。各教室前には消毒液が置かれ、児童らは座席の間隔を空けて着席。朝のホームルームでは、教諭が「いつもの合音や詩の朗読はできません」と近づけ、児童らは休校前と違って戸を感心ながらも、友人との再会を喜んでいる。

6年の岡本悠愛さん(10)は「みんなに会えて良かったけど、再会できて良かった。卒業までの1週間、最後の思い出づくりをした」と話した。

市教育委員会は「仕事を簡単に休めない家庭も多い(有効回答8339人)を公表。」「子どもの外出を困難するなど不寛容な言動を控えてほしい」とのメッセージを出した。

保護者からは「スーパーで買い物中、高齢の方に子どもは出歩くな」とどなられた。怖く家にこもっている。「病原菌のように扱われた」「教育委員会に通報された」などの回答があったという。

休校中に困っていることとして「運動不足」「日中の居場所・遊び場所がない」の回答が半数を超えた。小児科医でNPO法人「Safe Kids Japan」の山中龍宏理事長は「友達と会えないストレスで精神的に不調になることも懸念される。普通に社会生活を送っている大人がいるのに、子どもにしか寄せがいき、我慢させていることを社会が理解し、配慮が必要だ」と指摘する。

県内では豊岡、美濃川市などでも再開。富山市では、市では休校中に「健康観察カード」を配布し、毎日体温や体調を記録してもらった上で工夫を重ねての再開となった。

運動場開放

文部科学省は当初、都道府県の教育委員会に「自宅」で児童生徒や児童への取材による

子どもが休み中に遊ぶ際の注意点

- 大人で密集したり、接触したりする運動や遊びは避ける
- カラオケボックスなどの閉ざされた場所には行かないようにする
- 遊ぶ前に遊具や玩具をアルコールや薄めた塩素系漂白剤で消毒する
- 遊んだ後はせっけんなどを使い、手のひらや手首などを20秒以上洗う

で「過す」を原則とするよう指導を要請。公園で遊ぶ子どもを学校側が注意するなどの混乱も起き、文科省は9日、屋外での適度な運動や散歩は認められるとの見解を示した。

政府の専門家会議によると、感染リスクが高いのは「換気の悪い密閉空間」「多くの人が密集」「近距離での会話や発声」の三つの条件が重なった場合で、屋外での通常の遊びや運動は該当しない。

大半の学校は休校を延長しているが、文科省の見解を受け、奈良県生駒市教委は「ストレスを解消してほしい」と13日から市立幼稚園や小中学校の運動場を開放。大阪府東大阪市なども同様の対応で、大阪市も「子どもに寄り添った対応をしたい」として校庭開放の検討を始めた。

■外出に非難

保育事業を行うNPO法人「フーレンス」(東京)

# その他 (取材記事)

東洋経済  
2019/9/12

特集 / 子どもの命を守る



## 溺水

乳幼児の風呂事故を防ぐためには、風呂に水をためておかないこと。川や海ではライフジャケット着用が助けになる

風呂に転落して溺れる



川や海で流される



## 転落・転倒

抱っこひも、ベビースリングや自転車のほか、転倒し歯ブラシが口内に刺さる事故も。曲がる歯ブラシなら安全

抱っこひもから転落



幼児用座席に乗ったまま自転車が転倒



歯ブラシをくわえたまま転倒

## 不慮の事故

### 3大パターン

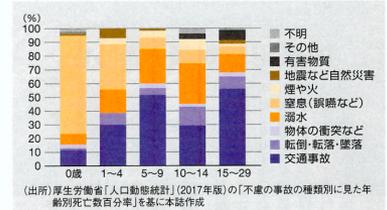


ボタン電池を誤飲

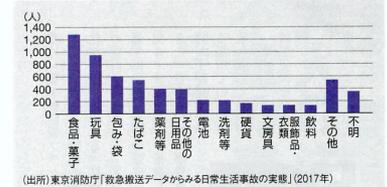
## 誤嚥・誤飲

ボタン電池は誤飲すると、胃や腸に穴が開くなど重症化することもある。パッケージの工夫で件数は減ったが、事故は続く

■年齢で変わる死亡原因—子どもの不慮の事故の内訳—



■さまざまなものを飲んでしまう—乳幼児の誤嚥・誤飲の関連器物別救急搬送人数—



## ■身の回りの製品にも危険がいっぱい—消費者庁が注意喚起した主な製品事故—

製品の種類	事故の内容
水遊び用フロート(空気入れ乗り具)	海で使用中、子どもが沖に流され溺れた
カプセル入りスポンジ玩具	誤飲して原因不明の不調が続き、全身麻痺で搬出
ブラインドのひも	子どもの首に絡まり、5年間で3件の死亡事故
ハンドスピナー	幼児が金属製の部品を誤飲。窒息のリスク
ドラム式洗濯機	2015年に続き18年に幼児が閉じ込められ死亡
大人用ベッド	乳児がベッドから転落。頭蓋骨骨折や窒息も
首掛け式浮き輪	子どもが浮き輪から抜け、溺れる

(出所)消費者庁「子ども安全メール」(2014~19年)から抽出

喚起を加えて、販売が続けられる製品がほとんどだ。「日本製品がほとんどだ。防止のため改良されるケースが多い。しかし、今はそうではない輸入品がネット通販にあふれていることにも注意が必要だ」(西田教授)

新製品が生まれると、新しい事故が起こることも常だ。大人には過去の傾向からどんな事故が起こりうるかを想像し、未然に事故を防ぐ心がけが求められる。

(許斐健太)

出していない簡所を理解させることができるとい。中高生には危険箇所を伝えるだけでも有用だろう。子どもを襲う不慮の事故は交通事故だけでなく、年代で異なるが、転落・転倒や溺水、誤嚥・誤飲による窒息が、不慮の事故死の上位を占める(図上)。死者数は減少傾向だが、東京消防庁の集計では、毎年9000人程度の乳幼児が不慮の事故で救急搬送されており、事故件数は減っていない。いかに各々の事故を防ぐか。

誤嚥・誤飲が相次ぐ背景には、幼児ほど新しく目にしたものを口に入れてしまう事情がある。「子どもは歯道が細いため、窒息の危険性が高い」と国立成育医療研究センターの窪田満医師は語る。

東京消防庁によると、乳幼児は食品・菓子等を喉に詰まらせるほか、玩具や袋、たばこ、ボタン電池などを誤飲しやすい。これらはなるべく乳児から離したい。

転落・転倒による事故も後を絶たない。子どもは頭部が大きく重た心が高いため、転落・転倒しやすい特徴がある。目立つのはソファや大人のベッドで寝かせた乳児が転落する事故。壁などの隙間に挟まると窒息する危険がある。「寝返りできないから大丈夫とソファ

などに寝かすと危険で、できなかったことに驚くようになる子どもも。日本の変化を認識することが大事」とセコムI.S.研究所の舟生浩一主任研究員は語る。

### 子どもも乗せ自転車の危険

転落・転倒の種類は多様化している。最近抱っこひもやベビースリングからの赤ちゃんの転落、子供乗せシート付きの電動自転車の転倒などが相次ぎ、消費者庁などは注意を呼びかけている。電動自転車のハンドルの間に設置する前乗せチャイルドシートは位置が高く、ヘルメットを着用せず転倒して頭部を打てば、頭蓋骨が骨折する場合もある」(窪田医師)。

溺水も昔からなくならない事故だ。低酸素状態で寝たきりになるなど、重症化するケースが多い特徴がある。2歳以下の子は自分の風呂に落ちて溺れることが多く、低年齢児ほど浅いニールプールでも溺れる。小学生になると川や海で溺れるケースが増えている。

認識すべきは小さい子どもは静かに溺れること。子は無意識状態で溺れると体力がなくなり、水中で逃げない。そのためいくら監視員が見張っても気づけないのだ。こうした不慮の事故をどう防ぐべきか。専門家が共通して指摘す

# その他（「聞かせてください」他）

## 1) 水上（海上含む）遊具関連の事故

- ・海上に設置されたアスレチックからの飛び降りによる骨折
- ・水上に設置された遊具の下へのもぐり込み
- ・会場に設置されたアスレチックからの飛び降り時に、別の遊具に頭が挟まれ、ライフジャケット着用中だったため、浮き上がれなかった
- ・池に浮かべたアスレチックで、上半身だけが水中にもぐってしまい、起き上がれなかった
- ・海上に設置されたアスレチックから転落した子どもを持ち上げられなかった
- ・海上に設置されたアスレチックの継ぎ目による切り傷 他

## 2) 転落

- ・大型スライダーからの転落による骨折
- ・変形すべり台からの転落

他

## 3) その他

- ・屋内用大型すべり台による火傷
- ・タイヤ引き（運動会種目）練習中の熱中症
- ・公園の柵に頭が挟まれる危険

他

「聞かせてください」に水上遊具に関する事故が相次いで寄せられたことを受け、消費者庁に詳細な調査を要請。消費者安全調査委員会で取り上げられ、調査が行われ、2020年6月19日に報告書が公開された。